

介護等体験 心得

これは、介護等体験を受講するにあたっての最低限のマナーをまとめたものです。介護等体験は、教員が個人の尊厳及び社会連帯の理念に関する認識を深めることの重要性にかんがみ、教員の資質向上及び学校教育の一層の充実を図る観点から、小学校又は中学校の教諭の普通免許取得希望者を対象に、実施されるものです。このマナーを基礎として、充実した介護等体験となることを期待します。これらができなければ、体験途中でも受講停止になることがあります。

介護等体験の目的

- 学校の児童生徒達や施設に入所されている方達から学ぶことによって、個人の尊厳及び社会連帯の理念に関する認識を深めること。
- 一人ひとりの価値観の相違を認められる心を持った人づくりを行うこと。

心得その1

1 〔基本〕

まずは、一般社会のマナーやルールを守ることが基本です。明朗な挨拶をして、誠実な態度で体験をするようにしましょう。そのときだけは、通用しません。日々の生活において準備をすることが大切です。

心得その2

2 〔日時と場所〕

決定している体験日や時刻・時間、場所を守りましょう。「忘れた」や「間違えた」は、自分だけの問題ではなく、多くの方々に多大な迷惑をかけることになります。前日までに、交通経路や交通機関の時刻などをよく確認しましょう。また、可能であれば、下見をしておきましょう。前日は早めに就寝し、十分な睡眠時間をとるとともに、当日は早めに家を出るようにしましょう。

心得その3

3 〔報告・連絡・相談〕

急病や公共交通機関の遅れなどで、やむを得ず遅刻や欠勤をするときは、本人が事前に体験先及び所属の学生支援担当に連絡しましょう。そのほか、報告・連絡・相談を心がけましょう。無断遅刻・無断欠席は原則、受講停止となります。

心得その4

4 〔持参物〕

指定されている服装や持ち物（例：エプロン、着替え、上履き等）は前日までに準備をして不足等がないか確認し、当日必ず持参しましょう。なお、貴重品は持っていかないようにしましょう。

心得その5

5 〔身だしなみ〕

身だしなみ（特に茶髪、不精髭、長い爪、作業の邪魔になる髪型やアクセサリ、過度な化粧や香水等）に注意をして、児童・生徒や教職員、施設利用者や職員に不快な思いをさせることなく安全で適切な体験ができるようにしましょう。

心得その6

6 〔健康管理〕

体験中は緊張や疲労を伴います。また、病気を体験先に持ち込んだ場合、心身が不自由であったり高齢であったりする人の健康を害することから、自分の健康管理には十分注意しましょう。感染症予防には万全を期し、発熱・下痢等体調の異常を感じる場合は、無理をして、体験に参加しないようにしましょう。

心得その7

7 〔約束事〕

介護等体験は、当該の体験先の約束事に基づいて行うものです。そこには、大切な理念や様々な事情が含まれています。自分で勝手な判断を行うことなく、その場所での約束事に沿うとともに、不明な点は必ず指示を仰ぎましょう。

心得その8

8 〔現場に学ぶ〕

現場には様々な状況があります。それを自己の見識の範囲だけで理解したり不用意に批判したりするのではなく、現場の考えや事情、指導職員などの立場を尊重しましょう。「現場に学ぶ」姿勢が必要です。

心得その9

9 〔情報の取り扱い〕

体験中に触れた個人情報については守秘義務があります。プライバシーの侵害にならないようにしましょう。個人名はもとより体験中の出来事や感想などについて、オープンな場所で話題にしたり、ソーシャルメディアに載せたりしてはいけません。

心得その10

10 〔責任の自覚〕

介護等体験を行うということは、体験先の児童生徒や利用者に対して一定の責任を負うことになります。同時に、みなさんは広島大学の過去と現在を背負い、みなさんの姿は後輩や大学の未来にも影響します。いろいろな責任を自覚し、よりよい介護等体験となるように努めてください。



体験先が決定したら記入しておきましょう

■特別支援学校

学校名： _____

所在地： _____

体験日： _____月 _____日()～ _____月 _____日()

電話番号： _____

■社会福祉施設

施設名： _____

所在地： _____

体験日： _____月 _____日()～ _____月 _____日()

電話番号： _____

※所属の学生支援担当の連絡先

電話番号： _____

介護等体験の服装

- 特別支援学校、社会福祉施設から特に指示がない場合、出退勤時は社会人に準じた清潔かつ礼を失さない服装（スーツ等）を着用してください。
- 体験中は「動きやすい服装」と指示される場合がありますが、友達と遊びに行くような服装ではありません。貴重な時間を割いて体験を受け入れてくださった学校・施設に感謝し、失礼のない服装、身だしなみを心がけましょう。

「動きやすい服装」

原則、白色のTシャツかポロシャツ、ジャージを着用する。（ワンポイント程度は可。下着等が透けないよう配慮すること。）

- 短パン不可。
- 派手なものや胸元や腰元が広く開いた服装は厳禁。

上履きは、シューズ又はスニーカーとする。

- サンダル・スリッパ不可。



身だしなみのチェックポイント

- 茶髪・金髪等に染めた髪は不可。
- 長い髪は束ねる。
- 爪は短くする。
- マニキュアはしない。
- ピアス・ネックレス・ブローチ等のアクセサリーは外す。